

米国ワシントン大学短期英語プログラム報告書

北海道教育大学札幌校

総合学習開発専攻

阿部 真利恵

(1) プログラムで受講した授業に対する印象、コメント

今回参加したプログラムでは、初日にリスニングとスピーキングのクラス分けテストを行い、それぞれのレベルに合わせた授業を行ってくれました。私のクラスでは、主に言語を増やそうということを念頭におき、一つの単語に対して他にどのような言葉に置き換えられるのか考えたり、クラスの人とコミュニケーションを取る機会が多い授業でした。もちろん授業内はすべて英語のみの会話となり、質問が書かれている紙を渡され、クラスの人に質問をし、答えを書いて発表

たり、声を一切出さずに質問することをし

ました。そうすると、自然とゆっくり話すようになり、また、口も大きく動かす練習となりました。また授業時間の後半には、毎回映画を観ました。事前に分からない単語をグループごとに確認しあってから映画を観ていたため、日本語の音声や字幕がなくても、理解することができました。ファイナルプレゼンテーションでは、3人ごとのグループを作り、テーマを決めて現地の人に質問し、結果をまとめ、発表しました。発表方法は自由なので私達のチームではパソコンを使わずすべて紙に書いて発表したのでも、作成するのに時間がかかったのですが、このプレゼンテーションを通して、どのように質問したら、答えを引き出しやすいのかなど学ぶことができました。

課外学習では、大学の敷地内にあるプラスチック博物館や、ビルゲイツファンデーション、フリーモントに行きました。プラスチック博物館やフリーモントでは、紙を配られ質問に沿って答えを探して記入する方法で、ビルゲイツファンデーションでは、従業員の方に説明してもらいながら見学をしました。

3週間の授業を通して、最初の頃より確実にリスニング力が上がることが実感できます。



(大学のロゴの前でクラスの人と集合写真)



(フリーモントのトロイの前で集合写真)

(2) ワシントン大学での生活体験、シアトルの都市の様子

私のクラスでは新しく建てられたHUBという建物で授業が行われたのですが、とてもきれいな上に、一番下の階はレストラン街のようになっているので、ほとんどの昼食はそこで食べました。また、ワシントン大学は敷地がものすごく広く、大学の周辺に飲食店やドラッグストア、古着屋、本屋など普段の買い物はここで買えるぐらい何でも揃っています。昼食はぜひいろんなお店に入って食べくらべてみてください。



(ワシントン大学)

授業は午前のみなので、午後はフィールドトリップに参加したり、友達と観光したり、毎日のようにどこかに出かけていました。ただ、夜になると危険なので5時ぐらいには必ず帰るようにしていました。

ホームステイ先では、両親は仕事で忙しそうでしたが、6歳年上の娘さんがいたので、その人と主に行動を一緒にして、初日に大学を案内してもらったり、ショッピングに出かけたり、娘さんの友達と3人でご飯に連れていってもらったり、ドラマを一緒に見たりと楽しい時間を一緒に過ごすことができました。特に音楽のことや芸能関係で話が盛り上がったので、事前にアメリカの音楽や映画など共通の話題を知っておくといいなと感じました。また、ホストファミリーから日本料理を作ってほしいとリクエストされ、とても喜んでいたので、あらかじめ準備しておくことが必要だと感じました。

一度私が勘違いをしてホストマザーの出勤を遅らせてもらったりなどハプニングがあったことから、分からないことは何でも聞いて、理解するまで説明してもらうことが重要です。また、部屋に閉じこもっていると携帯ばかりいじっている状況になってしまうので、ホストファミリーが家にいるときは常にリビングにいるように努力したり、いろんな話題を持ちかけたりすることで、英語が上達するとともにコミュニケーション能力も高めることができると思います。

(3) 次回参加者に伝えたいこと

携帯電話は、WI-FIのみを使ったのですが電波がある所が限られてしまうので、日本であらかじめルーターをレンタルして持ち歩いていました。アメリカ国内ならば、どこでも使えるのでホストファミリーと連絡するときや地図を使うときには、レンタルしておいてよかったと感じました。

金曜日の夜から日曜日にかけて、バンクーバーに行きたい人たちが観光に行きましたが、バンクーバーはおすすめです。町もきれいで外国の雰囲気があり、人もみんな親切でたくさんのよい出会いがありました。シアトル



(バンクーバー)

からバスで行けるので、ぜひバンクーバーに行って観光することをおすすめします。お土産のメイプルサンドは絶品です。

私は最初英語が得意ではないので不安でしたが、大学生のうちにはしかできないことを経験し、自分の視野を広げたいと思い参加を決意しました。最初は自分の英語力の無さを痛感し、焦りやホームシックに陥っていましたが、3週間を通していかにこれまでの自分がただなんとなくの生活を送ってきたのか、実感できました。アメリカのお店ではお客に対して陽気にかかって無駄話をしたり、バスの中で困っていたらどうしたの？と知らない人が話しかけてくれたりとさまざまな人と接することにより、人と人とのつながりの大切さを改めて感じることができました。この短期留学に行って私は本当に行って良かったと思っています。これから参加する人は英語力の向上はもちろん、考え方や自分自身を振り返るきっかけにもなると思うので、一日一日を有意義に過ごし、楽しんでください。

